



未来を夢見て Season3

2022/10/7 No. 159

令和4年度 前半を終えて

～心を1つに 学級音楽発表会（10月13日（木）6年生から）～

ここ数日、急激に寒さが強まりました。この時期、雨がふるたびに気温が下がることを一雨一度（ひとあめいちど）と言うそうです。ただ、来週は高気圧の通過に伴って、秋空のさわやかな晴れた日が楽しめそうです。この繰り返しの中でだんだん秋が深まっていきます。令和4年度も折り返し。今日は朝の放送集会で子どもたちに通信票のこと、そして来週から行われる学級音楽発表会のことについて話したいと思います。

（前略） 今日で令和4年度もちょうど半分が終わりました。

そこで、このあと、教室で担任の先生から皆さん一人一人に通信票が渡されます。

校長先生も読ませていただきましたが、通信票にはみなさんが学習や生活で頑張ったことが書かれています。校長先生が嬉しかったのは、特に生活面で、挨拶がきちんとできる人 困っている友達がいるといつでも助ける人、 人が見えても見ていなくても一生懸命仕事をする人など、 みんなのよいところがたくさん紹介されていたからです。 また、特に感心したのは、6年生で下級生のためにお仕事を頑張っていた人がいることです。さすが最高学年ですね。今日、通信票を担任の先生からいただいたら必ず家の人に渡して一緒に中を確認してください。

さて、来週から全学年で学級音楽発表会が行われます。 この行事は、コロナの影響で、以前のように皆さんが歌や合奏を発表する機会がなくなったので、その代わりとして先生方が考えてくださったことです。

みなさん担任の先生と一緒に一生懸命頑張っているのです、きっと素敵な発表会になるものと思います。

みなさんの家の人もととても楽しみにしていることと思います。 発表会ではみんなの心を1つにして素敵な演奏を発表してください。（後略）

さて、子どもたちの頑張りは勿論ですが、小野小先生方の頑張りにもいつもながら感心させられた令和4年度の前半でした。記憶に新しいところでは9月30日（金）に行われた連サポの授業研究会。

授業は小野小学校の研究の特色である学年研究のよさを生かして提案されました。5年生は授業の中で教科書を随所に活用して進められました。一方6年生は一度も教科書を開くこともなく、教科書は最後まで机の中にして進められました。

同じ学校で(?)これだけ授業のスタイルが違うことに本来は違和感を覚えるはずですが、私は非常に納得して2つの授業を参観させていただきました。

その理由は、2つの授業に共通して感じられた担任の先生と子どもたちとの信頼関係の強さ、**学級づくりの素晴らしさ**です。6年生の赤坂先生（初任3年目）と5年生の小室先生（初任2年目）。二人が日々切磋琢磨しながら子どもたちとかかわっている姿は、小野小学校の全ての教職員が認めることと思います。

来週の音楽発表会に向けて、音楽専科の靖子先生と協力しながらまた、学年で先生方同士が協力しながら準備を進めている様子などこれまでにはなかった光景に触れています。初めての学級音楽発表会、私たちも心を1つに頑張らしましょう。

（文責：手代木）

